



長崎青年協会會章
吉田人

我々は会員の团结と
相互扶助の精神の基に
自己の建設と
会員の絆を固り
もって地域社会の發展に
寄与する事を目的とする

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

社団法人長崎青年協会



■本年度スローガン

ハートが ちからに
行動が ちからに

NYA press no.174
December 1993

12

発行／長崎市角の町7-7
(社)長崎青年協会
会長 森 保博
編集／広報委員会
広報委員長 伊藤克樹

平成5年度臨時総会開催

平成5年11月22日(月)
於: ホテルニュー長崎

次年度会長に桑田啓伍君決定!

平成5年度臨時総会が11月22日(月)、ホテルニュー長崎に於いて行われました。開会宣言、臨時総会成立宣言、森会長挨拶の後、議長、議事録作成人及び、議事録署名人がそれぞれ選任され、審議に移りました。まず第1号議案である平成5年度補正予算案の説明が、金田芳裕事務局長より行われ、満場一致で承認されました。つづいて、第2号議案であります次年度会長選出が行われました。永田吉朗選舉管理委員長より、桑田啓伍君の会長立候補の報告がありました。新ヶ江憲和君から桑田啓伍君を次年度会長に推薦する挨拶の後、桑田啓伍君の立候補の挨拶が行われました。



〈桑田啓伍君立候補の挨拶〉

昭和59年4月に入会して以来、協会活動の中で色々な経験をさせて頂きました。振り返ってみると、62年度の頃より、今の様な行政とのタイアップ事業等が多く盛り込まれる様になり、この年、研修委員会の委員長をさせて頂き、多くの時間を青年協会の活動に費やす事となりました。私にとりまして、この青年協会の活動を通じて、得たものは何物にも代えがたく、私の血や肉となっていると思います。4年ほど前、私生活において、又仕事の面において、大変苦しい時期があり、唯一青年協会をやめようと思った時がありました。そんな時、心や仕事の上において、私のささえになってくれたのが青年協会の仲間でありました。こんなに素晴らしい仲間が出来る土壤が青年協会にはあるという事を私が伝えて行かなければと思っております。そして皆で我々の青年協会の仲間を1人でも2人でも増やしながら、語つていけたらと思います。

今回立候補者が桑田啓伍君一名だった為、信任投票が行われ、総会出席者満場一致で信任され、次年度会長に桑田啓伍君が決定いたしました。

臨時総会成立宣言	会員総数	103名
出席者	68名	
委任状	26名	
総 数	94名	総会成立
議 長	中村善人君	
議事録作成人	板倉和人君	
議事録署名人	森 保博君	
	渋谷 晃君	

ふうせんバレー ボール全国大会

平成5年11月7日(日)
於: 北九州大学

去る11月7日、北九州市の北九州大学の体育館にて、ふうせんバレーの全国大会が行われました。我々長崎青年協会からも森会長・桑田25周年担当理事・城谷副会長・桜井委員長・平田副委員長・梁瀬君の6人で、長崎大会でもお世話になったドリームハートナガサキの皆さんのチームにはいり参加しました。大会前日は、北九州市のホテル法華クラブに泊まり、ドリームハートの皆さんと前夜祭(親睦会)を行い夜遅くまで賑わいました。結果は森会長・桑田君がいったサンデーナガサキチームが6位、城谷君・平田君・梁瀬君のハートナガサキが7位入



賞、優勝は長崎大会でも活躍(2位)した北九州市のスクラップスティックスの兄貴分、スラップスティックスでした。又、桑田君が見事大会名誉会長賞を獲得しました。

人づくり 街づくり フォーラム開催

平成5年11月16日
於：商工会館

11月16日商工会館に於いて、ネットワーク市民の会主催による「人づくり 街づくり」フォーラムが開催されました。まず、長坂連白トップ組事務局長の梶山辰夫さんが、「祭りを考える」という演題で基調講演を行い、祭りまたはイベントは継続する中で人と人との出会いがあり、街の盛り上がりに必ず結びつくと話されました。その後、ネットワーク市民の会より4団体が代表として、それぞれ取り組んでいるイベント（事業）について話しました。その中で、長崎青年協会を代表して、城谷富好君が「ふうせんバレー ボールふれあい in 長崎」について話し、障害がある方と接しているうちに心が洗われ、「人間」がその「間」を取って「人」になれた事など、感動を呼ぶお話しでした。今後「ふうせんバレー ボール」が普及していくことを願い、また、「福祉」について取り組んでいく上で力強い第一歩になったと思われました。

ネットワーク市民の会によるフォーラムも今年で2回目となり、一歩一歩前進していくネットワーク市民の会を感じられました。



文化財清掃・歴史文化学習セミナー

平成5年11月3日
於：東海の墓



去る11月3日の文化の日に、長崎市夫婦川町の山手にある「東海の墓」に於いて文化財清掃が実施されました。今回の企画は、大好き長崎なるほどセミナーに参加した、市内の小学生および会員の子供たちを交え、「東海の墓」を主な題材に文化財の現状・見方・保護について考える「歴史文化学習セミナー」として行われました。

午前8:30より春徳寺山門前で受付開始、9:00より開会式として会長挨拶・地域社会委員会委員長から清掃の手順についての説明等のあと、今回の清掃場所である「東海の墓」へ向かいました。

1年が経つのは早いもので、去年きれいに清掃したこの「東海の墓」も再び雑草で覆い尽くされていましたが。毎年行っている手際良さで、見る見る内に貴重な文化財である墓石や壁面の絵などが現れてきました。天気もよく集合した頃は息が白く見えるほど冷え込んだ朝でしたが、清掃が終わる頃には気温も上がり汗を流しながらの作業となりました。

その後、10:00より会場を桜馬場中学校の体育館へと移し、参加者に資料等が配られ、地域社会委員長の大塚君による「歴史文化学習セミナー」が始まりました。

このセミナーは、まず文化という言葉の意味から始まり、長崎市内の文化財、昔の町名、原爆の遺構から平和教育について、そして、今回清掃を行った「東海の墓」での新しい発見について等、興味深い内容でした。また、歴史と文化について学んだ後、話題は「愛と願い」についても関連し、ド・ロ神父ミュージックプランの音楽テープも鑑賞しました。参加した小学生にとっては少しむずかしい部分もあったかもしれません、長崎の身近なところで歴史や文化に直接ふれることは大切な経験であり、将来「あの時、青年協会のお兄さんから教わった事があったなあ」と思い出してもらえると非常に嬉しく思います。

閉会式として、次回のなるほどセミナー修了ハイキングについての連絡、及び城谷担当副会長の挨拶があり、今回の文化財清掃・歴史文化学習セミナーを締め括りました。



'93大好き長崎なるほどセミナー修了式

平成5年11月21日(日)
於: ポートパーク長崎

去る11月21日の日曜日、本年度の青少年育成事業として実施してきた、「'93 大好き長崎なるほどセミナー」の修了証書の授与式が、小雨の降る旧魚市跡地のポートパーク長崎内で行われました。当初、午前中に稻佐山までハイキングをして、お昼には「スープビーフン」をみんなで食べ、午後から修了証書の授与式をおこない現地にて解散という企画だったのですが、その日は、残念ながら前日来の雨が止まず、ポートパークでの修了証書授与式のみ行われました。

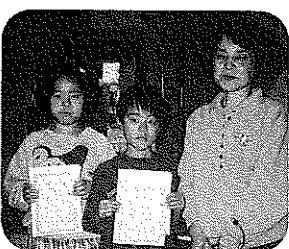
これまで、6月に第1回目:「親子田植えセミナー」、8月に第2回目:「伊王島宿泊体験セミナー」、11月に第3回目:「秋の収穫祭セミナー」を行ってきましたが、いずれも天候に恵まれ、関係者・関係団体・及び参加小学生のご父兄の方々のご援助・ご協力により無事、全てのセミナーを終えることができました。あらためてお礼を申し上げます。また、合六委員長をはじめとした、青少年育成委員会の皆さん、ならびに会員の皆さん、たいへんお疲れさまでした。



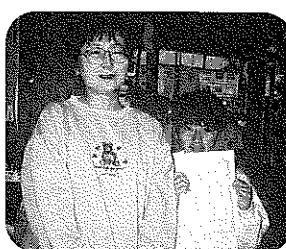
梅本さん（お母さん）
青年協会の関係者に
知り合いがいて子供を
参加させました。いろ
んな職業の人が皆揃つ
てひとつの事を成し遂
げていくところが、素晴
らしいし、羨ましいことでもあります。



西岡 聰君
8月の体験宿泊でフェ
イファンに乗って船の
デッキ掃除をしたのが
一番おもしろかった。
来年またあったら、参
加したい。



浜口大輔君
なるほどセミナーに
は今回が初めての参加
で、ハイキングを楽し
みにしていたのに、雨
で中止になってとって
も残念です。



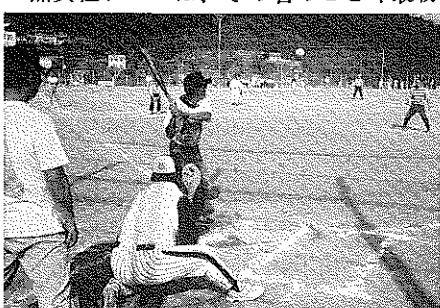
渕本陽蘭ちゃん
伊王島宿泊体験がよ
かったです。バーベキュー
もおいしかったし、今
年、ほかには海へ行か
なかつたので伊王島の
海で泳げたことが一番
楽しかった。

○ソフトボール大会○

平成5年11月3日
於: 立山グランド

11月3日(水)、立山公園グランドにおいて、会員とOBによる親睦のソフトボール大会が行われました。会員6チーム、OB2チームの8チームをAパート、Bパートに割り、総当たり方式でそれぞれ1チームづつ決勝にあがりました。

無責任チームは、その名のごとく最初人数が集まらず右往左往していましたが、時間ぎりぎりに集まると、その実力を発揮し決勝まで進みました。



決勝戦は無責任チームと、ドラゴンボールチームで行われ、18対8と圧倒的大差でドラゴンボールチームが優勝しました。勝因は、なんといっても監督がいるかないかの差ではなかつたでしょうか。影のMVPには、6ホームランを打った円能寺君。また、下釜君のホーム死守も見のがせませんでした。なお、3位にはOBのBチームが入りました。

夜は、銀鍋で祝賀会があり、恒例の一気飲みで盛り上りました。

委員会訪問 活動状況報告

総務委員会 General Affairs Committee



25周年の記念誌作成に忙しい総務委員会を訪問しました。毎年、総務は暇だといわれてきたので今年はいろいろな役割が回ってきて忙しいということでしたが、永田委員長は仕事柄慣れたもので的確にこなしているようでした。

委員会の方針としては、「雑用をそつ無くこなす委員会にしよう」という最初の目標だったのですが、最初の頃は委員会の出席率が悪く、まとまりがなかったのですが、25周年記念誌の作成で盛り上がって、手帳作成で締め括り、最後においしいお酒を飲みたいとのことでした。

第2回 未来を語る会開催

平成5年11月17日(水) 於：銀鍋

去る11月17日(水)に青年協会未来を語る会が催されました。今回は金田座長を中心に銀鍋で文字通り、鍋をつつきながら忌憚のない意見を交換し合いましたが、今後も活発な協会活動を行うために灯をつけて広げていこうと言う座長の言葉で締め括られてお開きとなりました。



長崎県老人クラブ連合会フォーラム

平成5年11月10日～11日 於：長崎市農協会館

「高齢者の相互支援と新しいまちづくり」と題して、去る11月10日11日両日、長崎市農協会館にて男性リーダー、女性リーダーによるフォーラムが開催されました。担当の地域事業委員会では10日桜井君、11日中村君がパネラーとして300名ほどの参加者の中出席しました。内容は協会活動現況と、主に社会福祉の一環としてふうせんバレーボール、老人ホームでのもちつき大会の活動と問題点等を意見発表としてスピーチしました。



◀ 新人紹介 ▶ 末石景一君



生年月日
歳・血液型
自宅
勤務先
趣味
好きな言葉

昭和39年5月29日
29才 A型
長崎市相生町12-24
(有)ハヤシダ
長崎市江戸町5-8 中央橋ビル2F
女性
エバー オンワード

